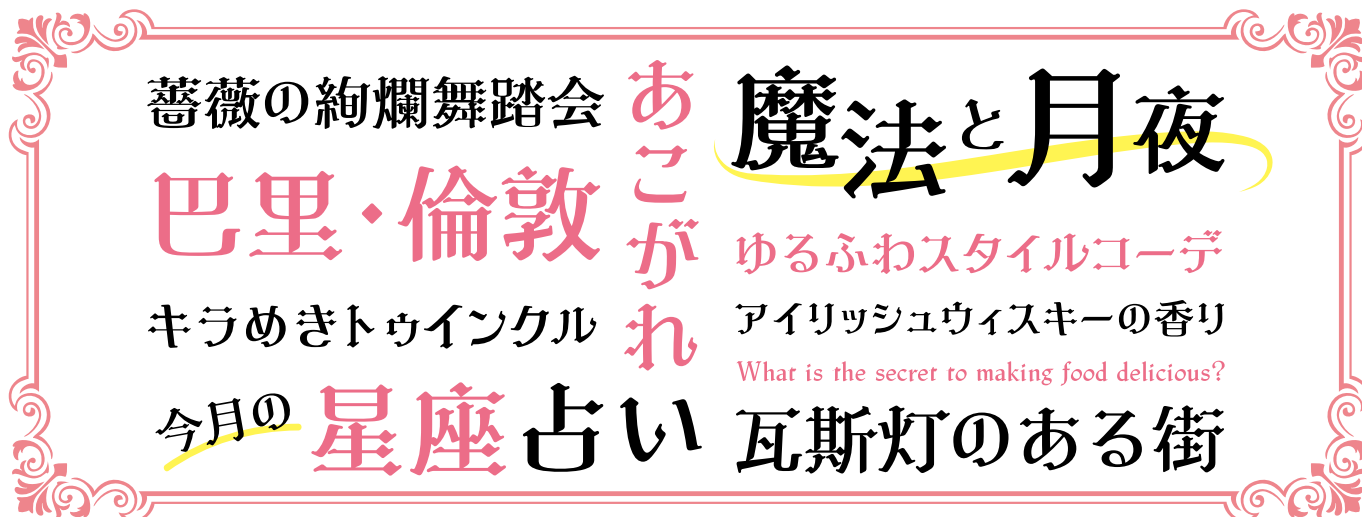


P.1 モリサワフォントの秘密 —「赤のアリス」編— | P.2 自治体の課題解決にMCCatalog+ | P.4 プロジェクト紹介 FONT SWITCH PROJECT
P.6 iPad向けフォント提供アプリをリリース | P.7 MORISAWA TYPE PRODUCT | P.8 教育現場のユニバーサルデザイン UDデジタル教科書体



モリサワフォントの秘密 —「赤のアリス」編—

新書体「赤のアリス」を担当したフォントデザイナーが開発秘話を明かす。

赤のアリスは、もともとかな書体「TBかな-赤のアリス」として生まれました。平筆でできるダイヤ型のエレメントが特徴で、「魔法感」「かわいらしさ」を演出しています。装飾性の高い書体で、書籍タイトルや製品ロゴなど、短めの文章を組むことを想定しています。

書体開発の中で、書体名をつけるのは難しい作業の一つです。「TBかな-赤のアリス」の開発時もなかなか名前が決まりませんでした。「『不思議の国のアリス』が好きな女の子」の世界観に合っているように思い、初めは「アリス」という名前を検討していました。ただ、既にありそうな名前であることや、二つの書体をシリーズとしてつくっていたため、もう一方をどうするかと悩んでいたところ、同僚から「アリスの物語に“赤の女王”と“白の女王”というキャラクターがいるから赤と白にしてみたら？」というアイデアをもらい、「赤のアリス」「白のアリス」という名前になりました。今回、漢字デザインも加わった総合書体として発表する際、「真紅のアリス」や「紅蓮のアリス」などのアイデアも出ましたが、かな書体との関係が分かりやすいようシンプルに「赤のアリス」となりました。

また、再開発にあたり、チームで設定した書体のコンセプトは「明るく親しみやすいかわいらしさ」。コンセプトを決めたおかげで目指す方向を共有でき、デザイン固めの指針ともなりました。今回、漢字だけでなく、かなのデザインも少しずつ改良を加えており、さらに使いやすいものになっています。ぜひ、いろんな場面で使ってみてください。



“すべての人に正しい情報を伝えたい” 自治体の課題解決に MCCatalog+

既存の紙面データを手軽にデジタル配信できる

多言語ユニバーサル情報配信ツール『MCCatalog+(エムシーカタログプラス)』。

今回は、災害時の情報発信など、新たな場面で『MCCatalog+』を活用いただいている
広島県府中市政策企画課と広島県ブランド・コミュニケーション戦略チームの活用事例を紹介する。



多言語ユニバーサル情報配信ツール『MCCatalog+(エムシーカタログプラス)』は、英語や中国語、ベトナム語など全10言語での情報発信に対応しています。さらに、読み上げ機能や、ポップアップテキストへのUDフォント採用など、今や自治体の情報発信のさまざまな課題を解決するツールとして広がっています。現在、広報紙や観光パンフ、防災ガイドなどの配信に活用しているのは150自治体にものぼります。

「災害情報など有事の情報を住民に」 広島県府中市 政策企画課

広島県府中市では、2019年4月、在住外国人や若年層にも紙媒体以外の情報発信を強化したいと、MCCatalog+を導入しました。

基本は、月1回、市が発行している広報紙をデジタル配信する形で活用していますが、有事の際には、MCCatalog+の専用ビューア『Catalog Pocket (カタログポケット)』アプリのプッシュ通知を利用して、災害情報を発信しています。

Catalog Pocketアプリでは、広報紙などのコンテンツをお気に入り登録すると、新しい関連情報が配信される時にスマホやタブレットへ通知が届く、プッシュ通知機能があります。府中市では、この通知を緊急災害情報にも利用できると考え、2019年9月の台風発生時にも、1日2~3回にわたってプッシュ通知を活用し、避難情報など状況に応じた必要なお知らせをすばやく市民に届けました。

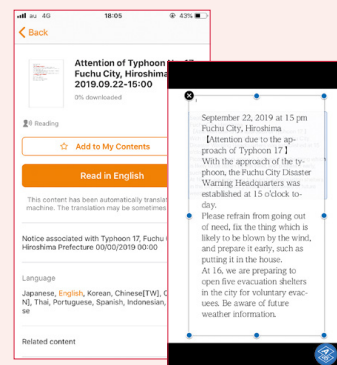
広島県府中市 政策企画課 「プッシュ通知」機能を利用した緊急災害情報発信



読者が府中市の広報紙を Catalog Pocket アプリでお気に入り登録する。



緊急災害情報など有事の際の情報を配信。
プッシュ通知により、読者へすばやくお知らせが届く。



「SNSと連携し、必要な情報を柔軟にタイムリーに」 広島県 ブランド・コミュニケーション戦略チーム

広島県では、以前よりTwitterやFacebookといったSNSでの情報発信を実施し、自治体Twitterでのフォロワー数では全国上位に入るなど積極的な活動を行っていました。しかし、課題になっていたのが、年々増加傾向にある外国人観光客や在住外国人へいかに情報を伝えるかということでした。課題解決のため、広島県では2019年11月にMCCatalog+を導入。コンテンツへのアクセスURLが自動発行できる機能を活用し、TwitterなどSNSの投稿時にURLを併記することで、日本語の投稿と同時に多言語の情報発信を実施。狙い通り、外国人観光客や在住外国人へ向けた多言語での情報発信を充実させることができました。

広島県ブランド・コミュニケーション戦略チームの瀬戸様は、導入の経緯を次のように話してくれました。

「閲覧に専用アプリのダウンロードが必須だと、ダウンロードを躊躇する方もいます。その点、MCCatalog+は、専用アプリだけでなくブラウザ上でも閲覧できるのが魅力的。SNSでURLを配信するだけで、すばやく簡単に多言語の情報を伝えられます。その『手軽さ』とSNSとの連携性に大きな可能性を感じ、導入を決めました。

さらに、新型コロナウイルス対応のコンテンツでは、原文を『やさしい日本語』で作成するなど、自動翻訳の精度をより向上させる工夫も行っています。今後もこのツールを活用して、災害情報や観光・イベント情報など、県からのお知らせを積極的に発信していきたいです」。

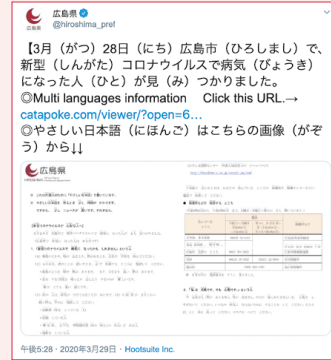
自治体の役割とMCCatalog+

公平性を重んじる自治体にとって、言語の差異、日常や非日常に関わらず、すべての方を対象に正しい情報を配信できることは、情報弱者を生み出さないことに繋がります。加えて昨今、誰一人取り残さない社会の実現を目指すSDGs(持続可能な開発目標)に参加する自治体が多い中、ユニバーサルデザインのコンセプトを持ったMCCatalog+はSDGsへの貢献にも繋がっていくのではないのでしょうか。

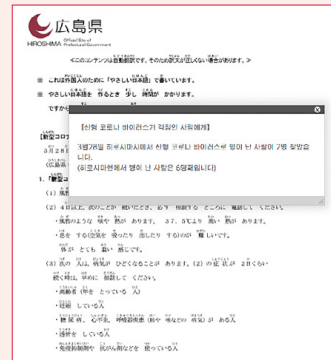
広島県 ブランド・コミュニケーション戦略チーム SNSと連携した多言語情報発信



Twitterの文章内に、多言語配信情報としてCatalog Pocketのリンクを記載。



Catalog Pocketにて10言語で情報配信。
在住外国人や外国人観光客にもすばやく簡単に情報を伝えることができる。



Catalog Pocketで活用事例を見る

広島県府中市の
配信コンテンツはこちら



広島県の
配信コンテンツはこちら



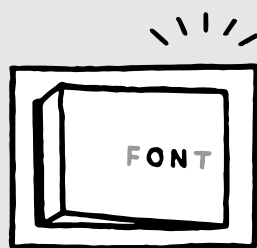
MCCatalog+について詳細はこちら
www.mccatalog.jp



Catalog Pocketの閲覧はこちら
www.catapoke.com



[FONT SWITCH PROJECT]は、クリエイターを目指す大学生、専門学生を対象に「フォントの感性を“ON”にする」ことを目的として、2016年からモリサワが取り組んでいるプロジェクト。将来、クリエイターを目指す学生に対し、もっとフォントを身近に感じてほしいとの願いから生まれたものだ。今年で開始5年目を迎え、どんどんと広がりを見せているこの取組みについて特集する。



フォントの感性を“ON”にする
FONT SWITCH PROJECT

supported by MORISAWA

“フォント愛”を伝えるフリーペーパーを企画・制作

1年ごとに「モリパス部」としてフォントが大好きな現役学生を募り、フォントの感性が“ON”になるよう活動しています。主な活動内容は、モリパス部メンバーと同じ世代、学生向けのフリーペーパー『FONT SWITCH MAGAZINE』を制作・発行すること。「フォントをミカタにすることでクリエイティブな活動をより良いものにしてほしい」というコンセプトで、誌面の企画やレイアウト、実際の取材、製本方法、そしてもちろんフォント選びにまでこだわります。

2019年度は、近年、個人の創作活動の形として注目される個人誌〈ZINE〉を制作。フォントの魅力を伝える『Moji no ZINE』として2~5人のグループに分かれて編集しました。憧れのデザイナーへのインタビューをはじめ、フォントを使った表現の可能性を探ったり、気になる書体を深掘りしたりする企画など、試行錯誤を重ねつつ、フォントに慣れ親しんでいない人でも楽しめる誌面に仕上げています。

『FONT SWITCH MAGAZINE』や『Moji no ZINE』は以下のQRコードからご覧いただけます。



FONT SWITCH MAGAZINE

www.catapoke.com/series/?id=LXOK5R



Moji no ZINE

www.catapoke.com/series/?id=tRpuko



「学校コラボ」や「産官学連携プロジェクト」で学生の学びに

フォントの感性を“ON”にするという思いに共感いただいた学校と、課題や作品制作などでコラボレーションしています。たとえば、東京デザイン専門学校の生徒さんは、『MORISAWA PASSPORT アカデミック版』のCM制作にチャレンジ。バンタンゲームアカデミーの生徒さんは、ゲームの世界観に合わせ、モリサワフォントを活用したゲームを作成するなど、課題はそれぞれです。ほかにも、モリサワフォントのプロモーション案やフォントの擬人化イラスト、動画制作など、各学校や学科の特色を活かしつつ課題設定しています。モリサワはフォントの選び方などについてレクチャーし、学生のユニークなアイデアをサポートしました。

また、学校だけでなく自治体をも巻き込んだ「自治体課題解決プロジェクト」も実施。学生が現地視察を行って現状を把握し、いかに地域の課題を解決できるかアイデアを捻ります。その際、企画そのものの重要性はもちろん、プレゼンのための資料作成スキルもとても大切。「もっと相手に伝わりやすくするにはどうすればいいか」を考える中で、自然とフォントについての意識も高まります。



FONT SWITCH PROJECTのこれから

これまで、デザイン系の大学、専門学校の学生を中心に実施してきた本プロジェクト。今年は、クリエイターを目指す学生だけでなく、さまざまな方のフォントスイッチを“ON”にする活動に拡大します。それは、小学生や社会人も含まれます。「フォントって、何?」というかたがたに「フォントって気持ちを伝える時に大切なんだ!」と気づいてもらえるような、そんな活動を鋭意企画中です。乞うご期待ください。

フォントは思考にカタチを与えます。そして、個性をもたせ、視認性を上げ、人々に伝えやすくもします。ちょっととつきづらくも思えるフォントですが、フォントを知り、フォントの感覚を磨くことは、自ら情報を発信する際に、必ず心強い味方になってくれるはずです。

— [FONT SWITCH MAGAZINE Vol.1] から引用

今まで、この活動に携わってくださったメンバーから、モリサワもたくさんの気づきをもらいました。モリサワはこれからも、よりたくさんの人のフォントに対する感性を“ON”にするべく、「フォントが持つ力」について発信を続けていきます。



iPad 向けフォント提供アプリをリリース

— あなたのつたえる、をもっと自由に。—

モリサワは、2019年12月にフォント提供アプリ『MORISAWA PASSPORT for iPad』をリリース。
2020年3月に書体を追加しアップデートした。本アプリについてご紹介する。



『MORISAWA PASSPORT for iPad』は、モリサワフォントがiPadで利用できるフォント提供アプリです。お手持ちの端末にインストールいただくことで、今までデスクトップ上でしか使えなかったモリサワフォントが、iPad上でも使い放題となります。モリサワやタイプバンクブランドから厳選した人気の491書体をまとめたフォントパック「Standard Pack」を提供しています。和文フォントや多言語フォント、最新書体まで、バリエーション豊かなフォントを利用することができ、iPadでのデザイン、創作をサポートしています。

MORISAWA PASSPORT for iPad 製品情報

提供されるフォントパック：Standard Pack
(モリサワ 409書体、タイプバンク 82書体 計491書体)

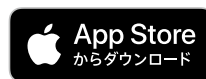
価格：2020年12月31日まで特別価格でご提供中

MORISAWA PASSPORTご契約者様
… 追加料金なし / 月(1契約につき1台のみ)

MORISAWA PASSPORTご契約者様以外の方
… 500円 / 月

詳しくはこちら：www.morisawa.co.jp/products/fonts/mpapp

アプリのダウンロードはこちら：



CHECK!

YouTube amity_senseiとコラボ!

iPadのクリエイティブな活用法を紹介するYouTuber、amity_senseiとコラボレーションしています。動画では、モリサワフォントを使ってデザインをさらに豊かにするためのヒントをご紹介します。ぜひご覧ください。



動画視聴は
こちら



モリサワ書体と日本のものづくり企業がコラボレーション MORISAWA TYPE PRODUCT

高い技術力を持つ日本のものづくり企業とモリサワの書体がコラボレーションした[KURO]、文字が持つ楽しさ・豊かさを、モリサワの多彩な書体に遊び心をプラスして製作した[SHIRO]の2ラインを展開する「MORISAWA TYPE PRODUCT」。今回は、現在発売中のグッズ4種をご紹介します。



hibi×モリサワ 書体で感じる日々の香り。 [KURO]

着火具がなくても手軽に使えるまったく新しいアロマスティック。マッチ製造の長い歴史を持つ神戸マッチと、お香製造会社の大発が共同開発したアロマスティック「hibi」とのコラボレーションです。書体の専門家が厳選した三つの書体(A1ゴシック、リュウミン、フォーク)の香りが楽しめます。

竹野染工×モリサワ 四季が染まった書体手ぬぐい [KURO]

表裏で染め色の違う、不思議な手ぬぐい。創業以来、ロール捺染という全国で唯一の手ぬぐい両面染色技術を持つ竹野染工とコラボレーションしました。それぞれ大胆に染め抜かれた「春」「夏」「秋」「冬」の文字は、手元で見たとき、離れて見たとき、折ったときなど、使われ方によって違った印象を与えます。

文字で飾るピンバッチ [SHIRO]

装いのアクセントとなる一文字が、上品で美しいシルバー素材のピンバッチとなりました。欧文書体「Role」や和文書体など全32種類をご用意。シンプルなデザインでありながら洗練された書体のフォルムが、美しい仕上がりです。贈り物にもおすすめです。

活字ブックマーカー×モリサワ [SHIRO]

本から文字が飛び出したかのように見える活字のブックマーカー。活字部分には、しなやかなPP素材を使用し、機能性と耐久性を兼ね備えています。中ゴシックBBB、A1明朝、すずむしなどの全12書体でひらがなの「あ」をあしらった、読書の時間が待ち遠しくなるアイテムです。



今後も、続々と新たなラインナップを追加予定です。お楽しみに。
詳細はモリサワストアから。 <https://store.morisawa.co.jp/>



「UDデジタル教科書体」の教育市場への展開

『モリサワマガジン』では初回より3回にわたり「UDデジタル教科書体」と欧文シリーズの特徴や魅力をお伝えしてきました。この書体が実際に教育現場でどのような広がりを見せているかをいくつかご紹介します。

三省堂『例解小学国語辞典』『例解小学漢字辞典』に採用

辞典の見出しは太いゴシック体が使用されることが多いのですが、三省堂は小学辞典だからこそ学校で教わる手書きの文字に近い書体を追求し、UDデジタル教科書体を『例解小学国語辞典』の見出しで採用しました。用例や特典「新しいろはがるた」にも広く使用しています。また『例解小学漢字辞典』の熟語の見出し、部首の意味説明、例文などにも採用し、子どもたちからは「探しやすい」「読みやすい」「分かりやすい」と好評です。



https://dictionary.sanseido-publ.co.jp/20200304_rsk

ポプラ社 百科事典『総合百科事典ポプラディア第三版』に採用

2021年秋、全国の学校や公共図書館で広く活用されている『総合百科事典ポプラディア』が10年ぶりに全面リニューアルします。小・中学生や教員を対象にアンケート調

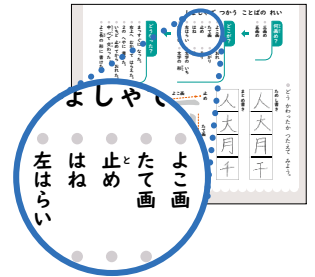


査を行い、人気の高かったUDデジタル教科書体を本文に採用することを決めました。学習指導要領に準拠した字形で多様な子どもたちの読みにも配慮していることから、インクルーシブ教育の現場では、新しい百科事典として期待も高まっています。

www.poplar.co.jp/schoolLibrary/poplardia3rd/

教育出版『小学書写』に採用

UDデジタル教科書体は、2020年から使用される小学校教科書の本文にも多く採用されていますが、教育出版では、社会、算数、書写で採用しました。文字を正しく整えて書くことを学習する書写では、学習のポイントと見出しに採用しており、手書き文字と近い形状なので書写的な観点から見ても学習しやすい文字です。ロービジョンやディスレクシアにも配慮した字形なので、すべての児童にとって学びやすい紙面になりました。



www.kyoiku-shuppan.co.jp/2020shou/index.html

今後も教育現場のニーズに対応し、UDデジタル教科書体のラインナップもさらに増えていきます。モリサワマガジンでも紹介いたしますので、ぜひご期待ください！

MORISAWA PASSPORT

豊富な書体バリエーションを常に最新のフォント環境で利用できるライセンス製品です。



フォント男子!



業界初!フォント擬人化コメディ漫画開幕! Webコミックサイト「ヤングエースUP」にて全話無料連載中!



お問合せ・ご要望は

経営戦略部広報宣伝課 E-mail: pr@morisawa.co.jp

WebサイトでのMorisawa Magazine閲覧は

www.morisawa.co.jp/about/morisawa-news



次号は 2020年9月発行 です



株式会社モリサワ

本社 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-6-25 Tel:06-6649-2151
東京本社 〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-27 Tel:03-3267-1231
仙台支店 〒984-0051 仙台市若林区新寺1-3-8 Tel:022-296-0421
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-5-10 Tel:052-201-2341

札幌営業所 〒001-0010 札幌市北区北十条西2-6 サウスシティ2F Tel:011-700-0112
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-3-25 Tel:092-411-5875
鹿児島営業所 〒890-0051 鹿児島市高麗町11-3 下田ビル2F Tel:099-252-2255

●今号のフォント

本文: 凸版文久明朝 R、UD新ゴNT (AP版) L / R / DB

見出し: 見出ゴMB31、リュウミンB-KL / H-KL、UDデジタル教科書体 M / B、UD新ゴコンデンス70 B、Clarimo UD PE DemiBold、Role Sans Display ExtraBold